第5回南アルプス市まち・ひと・しごと創生審議会　議事録

日　時：令和7年3月3日（月）午後2時00分～
場　所：新館地階　第1会議室

出席者：15名
欠席者：7 名
事務局：（依田総合政策部長、深澤政策推進課長、他 4 名）

（次 第）
1. 開　　会
2. デジタル田園都市国家構想の実現に向けた第 3 期まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）諮問
3. 市長あいさつ
4.会長あいさつ
5. 議　　事
　① デジタル田園都市国家構想の実現に向けた
　　第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）について
　② 答申について
6. そ の 他
7. 閉　　会

（配布資料）
【資　料　1】デジタル田園都市国家構想の実現に向けた
　　第3期南アルプス市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）
【参　　考】まち・ひと・しごと創生総合戦略について
【参　　考】新しい地方経済・生活環境創生交付金について

1. 開　　会

司　　会：定刻となったので、令和6年度第5回南アルプス市まち・ひと・しごと創生審議会を開会する。

2. デジタル田園都市国家構想の実現に向けた第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）諮問

市　　長：このことについて、南アルプス市まち・ひと・しごと創生審議会条例第２条の規定により、貴審議会の意見を求める。

3. 市長あいさつ

市　　長：皆さん、こんにちは。

本日は、大変お忙しい中、まち・ひと・しごと創生審議会にご出席をいただき、感謝申し上げる。

本市では、これまで「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、人口減少対策や地域経済の活性化に向けたまちづくりに取り組んできた。第2期の戦略では、地域資源を活かした産業振興や子育て支援の充実、移住・定住促進など様々施策を展開し、減少していた人口が増加に転じるなど、大きな成果を挙げてきたところである。

現在、本市は、中部横断自動車道の山梨－静岡間の開通や「fumotto 南アルプス」の開業といった更なる発展の好機を迎えている。同時に、少子高齢化など急激な社会変化に対し、DX を活用した市政運営も求められている。

皆様からいただいた貴重な意見をもとに策定を進め、先ほど諮問した「第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿って、本市の更なる発展を目指した魅力あるまちづくりを進めていく。

昨年の8月から本日を含め計5回にわたり審議を賜った委員の皆様に、改めて感謝を申し上げ、私からの挨拶とさせていただく。

4.会長あいさつ

軽部会長：足場の悪い中、ご出席いただき感謝申し上げる。

今回で5回目となる審議会、これまで各専門分野の皆様から貴重なご意見をいただくことで素案を作成することができた。その素案を、更に市や皆様とともに協議を重ねることで案ができ、この度、あらためて諮問を受けたところである。本日の審議をもって最終案とし、後日答申を行いたいと思う。本日も闊達なご意見をお願いする。

5. 議　　事

司　　会：議長は、軽部会長。副議長は、小林副会長にお願いする。

軽部会長：次第に沿って進める。議題①について、事務局より説明を求める。

事　務　局：①デジタル田園都市国家構想の実現に向けた第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について（【資料1】に基づき、事務局から説明）

軽部会長：事務局より説明があったことについて、質疑等はあるか。

それでは議題①は以上とする。

続いて、議題②答申について、となる。
議題①で本審議会としての最終案を審議いただいた。
最終案をもって、3月11日（火）に私と小林副会長で、市長に対し、答申を行いたいと思うが、よろしいか。

審 議 委 員：異議なし

軽 部 会 長：皆様より承認いただけたということで、以上ですべての議事は終了となる。

事　務　局：ありがとうございました。

6. そ の 他

司　　会：6. その他として、意見はあるか。

事　務　局：事務局より報告する。
（【参　　考】まち・ひと・しごと創生総合戦略について、に基づき事務局から説明）
（【参　　考】新しい地方経済・生活環境創生交付金について、に基づき事務局から説明）
審議委員の皆様と作成した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を用いて、企業版ふるさと納税や新しい地方経済・生活環境創生交付金を積極的に活用していきたい。

司　　会：事務局より説明があったことについて、質疑等はあるか。

飯 野 委 員：企業版ふるさと納税は積極的に活用するべき。
我々の立場としても、行政も、特に市長自らが出向くべきだと思うがいかがか。

事　務　局：ありがとうございます。皆様から、本市の取り組みに興味のある企業がいるようでしたらご紹介いただきたい。
また、市長副市長、事務局も含め積極的に制度活用できるよう努めていきたい。
その為にも「まち・ひと・しごと創生総合戦略」としての取り組みを周知していくことが大事なので、ぜひ皆様にもご協力いただきたい。

7. 閉　　会

小林副会長：長い間、協議にご協力いただき、感謝申し上げる。
当初のスケジュールでは、令和6年度中に4回の審議会を開催する予定だった。
しかし、活発のご意見をいただくことで、計5回と大変充実した審議会となった。
3月11日に軽部会長とともに、本日の最終案を市長へ答申させていただく。
最期、事務局より「第3次まち・ひと・しごと創生創生総合戦略」の運用についてお話いただいた。策定して終わりということではなく、今後もご理解ご協力いただければと思う。本日は、これで閉会とする。

以上